



1. K1号溝 (地境溝)



2. K3号道 (大山道)



3. 7・8号墳全景



4. 8号墳出土鉄鏃

●主な調査成果

上粕屋・石倉中遺跡では、以前の調査で発見された近世の大山参道や地境溝の続きが確認されました。これまで古墳は6基発見されていましたが、石室の存在は確認できませんでした。今回の調査では、後世の攪乱でかなり破壊されてはいましたが、小石室を含め5基の石室が発見され、周溝を伴う古墳も確認されました。全体に小型の円墳が群集し、終末期(7世紀末)頃古墳群と思われます。8号墳・9号墳は周溝を伴い、それぞれ7号墳と10号墳とした小石室が隣接しています。また、主体部が攪乱で破壊され周溝のみが発見された12号墳の西側にも11号墳とした小石室が隣接していました。それぞれの関係は不明ですが、あたかもセットで存在しているように思われます。なお8号墳の石室内からは、鉄鏃や刀子が出土しました。

- 調査期間 2021年4月1日～2021年10月15日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3km、大山東南麓に広がる台地上

